住まいのお役立ち情報

ちょっと耳より.com

夏が終わった今こそ、家の健康診断

松陰先生のお墓を、次の世代へ

2026
9・10
FREE
2008年9月創刊

家づくりをお考えのみなさまへ

やまぐち ZEH ゼッチ 宿泊 体験者募集中！

2026.6.1(月)～2027.2.28(日)

やまぐちZEH宿泊体験について

山口県では、ZEHの良さを体感していただくために、県内のハウスメーカー・工務店等と連携し、ZEH基準の断熱性能を備えた高断熱住宅での宿泊体験を実施します。実際に宿泊していただくことで、「夏は涼しく」、「冬は暖かい」快適な生活を体感いただけます。
※特に、早朝や夜間の快適さをご自身でご確認ください！！住宅の新築や購入及び建て替え等を検討している方は、この機会にぜひご家族みんなで体感しませんか？

(有)一乗建設は、やまぐちZEH宿泊体験事業協力業者です。詳しくは、環境政策課地球温暖化対策班まで

HP https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/site/syukuhakutaiken

お問合せ先　☎ 0838-25-9484
https://ichijou-ken.com/

INFORMATION

萩・竹灯路物語

開催日時　2026年10月9日（金）
・10日（土）・11日（日）
開催場所　萩城城下町周辺
お問合せ　萩・竹灯路物語実行委員会事務局
（萩市観光課内）電話0838-25-3139

竹灯籠のろうそくの灯りがほのかに歴史の町並みを照らします。

城下町周辺に約2,000本の竹灯籠が並び、ろうそくの灯りがほのかに歴史のまち並みを照らします。
幻想的な竹灯籠の灯りを楽しんでください。

発　行
有限会社一乗建設
山口県萩市大字椿東401-10
TEL 0838-25-9484

松陰先生のお墓を、次の世代へ

松陰先生の墓を守る会
――守る。伝える。未来へつなぐ。―

「公式ホームページはこちら」

松陰先生のお墓を、次の世代へ

萩には、吉田松陰先生をはじめ、杉家・吉田家ゆかりの方々が眠る墓所があります。その場所を長年守り続けてきたのが「松陰先生の墓を守る会」です。

会は昭和38年（1963年）に結成され、墓所の清掃やしきびの入替え、墓前祭などを続けてきました。

私の父は、一乗建設の会長を務める一方、「松陰先生の墓を守る会」の会長としても活動していました。父が亡くなったことをきっかけに、私もその役割を引き継ぐことになりました。

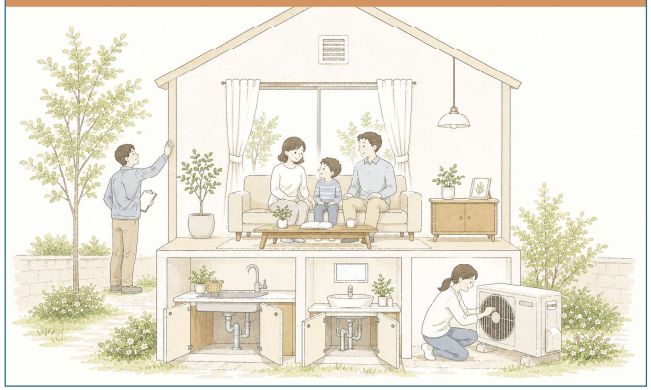
現在は会員の高齢化が進み、これまでと同じ形で活動を続けることが難しくなっています。私自身、松陰先生を深く研究してきたわけではありません。それでも、地域の人たちが60年以上守ってきたこの場所を、私たちの世代で終わらせてはいけないと思っています。

一乗建設も「家を建てる」という仕事を通じて、萩という地域で長く仕事をさせていただいています。家も、墓所も、地域の風景も、誰かが手を入れ続けなければ残っていきません。

今回、活動を知っていただくため、守る会の公式ホームページを開設しました。ぜひ一度ご覧ください。

ICHIJOU
有限会社一乗建
代表取締役　今福啓喜

夏が終わった今こそ、家の健康診断。



夏の終わりに、家の健康診断。

今年の夏も厳しい暑さが続きました。強い日差しや高い湿度、突然の大雨など、私たちが思っている以上に、家も厳しい環境にさらされています。

少し過ごしやすくなる9・10月は、家の状態を確認するのにちょうどいい季節。家のまわりをぐるっと一周して「家の健康診断」をしてみませんか？

・まずは雨どい。落ち葉やゴミが詰まっていないか、継ぎ目がズレていないか確認しましょう。これからの台風や秋雨への備えにもなります。
・次に外壁や軒裏。ひび割れや剥がれ、今までなかったシミなどがないかチェック。屋根には上らず、地上から見える範囲で確認するだけで十分です。
・窓や網戸も、破れやサッシの動き、鍵のかかり具合を確認してみましょう。
・室内では水まわりをチェック。キッチンや洗面台の収納を開けて、配管のまわりに水漏れや湿った跡がないか確認します。
・そして、ひと夏頑張ったエアコンも、フィルターを掃除して室外機のまわりに物や落ち葉がたまっていないか確認しておきましょう。

家の不具合は、早く気づけば小さな修理で済むこともあります。「これって大丈夫？」「こんなことを頼んでもいいの？」そんな小さな疑問でも構いません。気になるところがあれば、一乗建設までお気軽にご相談ください。

豆知識

料理　**白ジャコ（天竺鯛）の唐揚げ**

瀬戸内産の白ジャコ（天竺鯛）の頭と内臓を落として味付けしたものを唐揚げにしました。おつまみにどうぞ。

旨 テンジクダイ（天竺鯛）

テンジクダイ（天竺鯛）は、ハゼ目テンジクダイ科に属する魚です。呼び方もさまざまで、関西、岡山・広島県の備後地方では「ねぶと」（広島県の備後地方以外「ねぶとじゃこ」）、「いしもち」（岡山、香川）、「めぶと」（岡山県の一部地域）、「めんぱち」（広島県の一部地域）、「白ジャコ」（広島、山口の一部地域）などの呼び方があるそうです。テンジクダイは唐揚げなどで食べられていますが、発達した耳石（体のバランスを保つための石状の器官）がある為頭部を取り除きます。北海道噴火湾以南から台湾、中国、フィリピンなどに分布が広がっているそうです。この種は内湾から水深 100m 付近の砂泥底に生息しており、船釣りで外道として釣れることも少ないため、一般の人が目にする機会も少ない魚です。最大体長は 10cm ほどで小型魚類、体色は淡黄色で、体側に暗色の細い横帯が 10 本近くあり背びれ棘の上縁部が暗色です。本種は夜行性で親魚が受精卵を孵化するまで口にくわえて保護し、いわゆるマウスブルーダーを行います。卵の保護は雄が行うと推測されています。

監修　寿司一清